

# 技研引戸錠 引手一体型引戸錠 取付説明書

取付業者の皆様へ 取付後、本書は必ず御施主様または御入居者様へお渡しください。

**注意** 誤った取り扱いをした場合には、傷ままたは財産などへの損害が発生する恐れがある内容です。



禁止

- ※本製品は一般住宅屋内専用です。玄関や浴室、屋外では使用しないでください。
- ※シリンダー錠は商業施設等の多頻度使用には適さない仕様ですので使用しないでください。
- キーやシリンダーの摩耗で正しく施錠錠出来なくなることがあります。
- ※電動ドライバーは使用しないでください。
- 各取付ねじは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、作動不良が無いようにしっかり締付けてください。

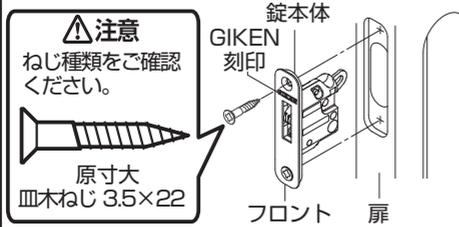
## 株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41  
 TEL 048-255-5411  
 FAX 048-255-8228  
<https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき安全に正しく施工されますようお願い致します。

### 1. 扉の彫り込みと錠の取付

裏面の取付型紙を利用して、扉に彫り込みを行います。フロントの「GIKEN」刻印を上にして下図のように皿木ねじで固定してください。



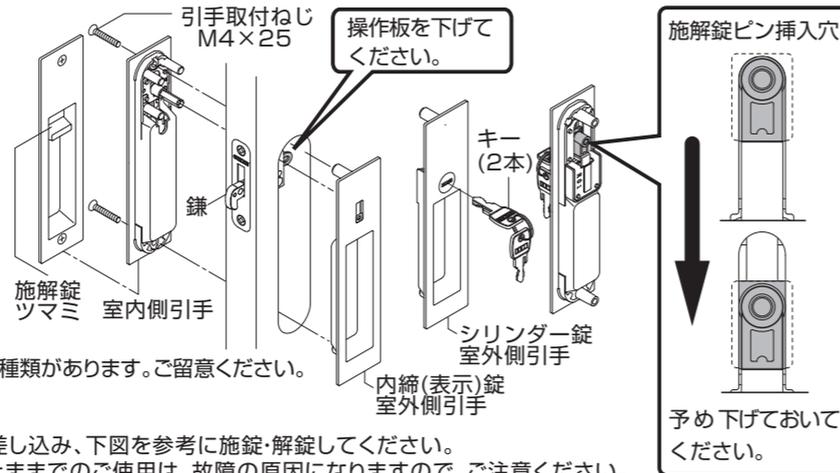
### 2. 施錠錠ピンの取付

室内側引手の施錠錠ツマミの穴に扉厚に対応した施錠錠ピンを奥までしっかり差し込んでください。室外側引手の穴に差し込みますと動作不良の原因になる恐れがあります。



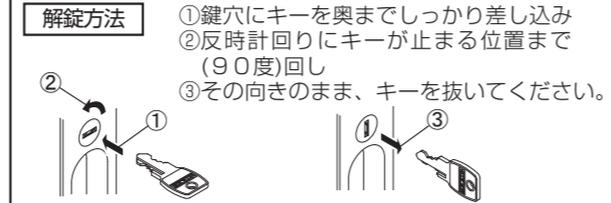
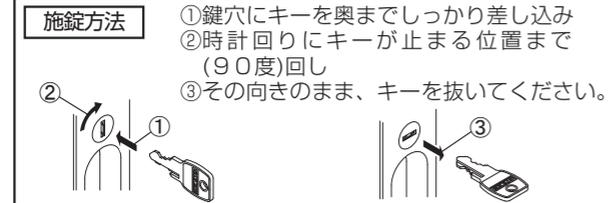
### 3. 引手の取付

錠本体の操作板を下に下げ、鎌を出した状態で取り付けます。室外側引手の施錠錠ピン挿入穴を下げ室内側引手を引手取付ねじで引手が変形しないよう注意しっかりと固定してください。A型引手は『室外側』から、B・C型引手は『室内側』からの、固定になります。引手を取付後、キー及び施錠錠ツマミを動かし鎌が動作することを確認してください。キーによる施錠錠方法は「シリンダー錠の施錠錠方法」を参考にしてください。



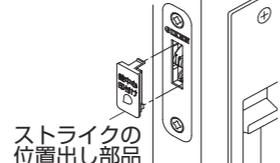
#### シリンダー錠の施錠錠方法

**注意** 錠穴にキーを奥までしっかり差し込み、下図を参考に施錠・解錠してください。キーの浅差しや、キーを差したままでのご使用は、故障の原因になりますので、ご注意ください。



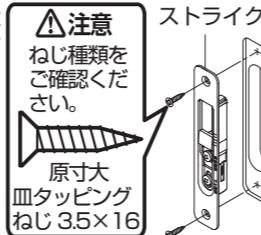
### 4. ストライクの取付位置出し

ストライクの位置出し部品を図の様に取付け、少し強めに引戸を閉めます。枠に凹みが付いたところから22mm下がったところがストライクの取付中心となります。



### 5. ストライクの取付・調整

裏面の取付型紙を参考に彫り込みを行い皿タッピングねじで取付けてください。鎌のかけ具合は、「ストライクの調整方法」を参考に調整してください。



## お施主様へ

### 注意 取扱上の注意

- ストライクの穴に指を入れたり、触れたりしないでください。けがをする恐れがあります。
- 錠は分解、改造しないでください。
- 引手取付ねじが緩んだ状態で使用していると、製品本来の機能と耐久性が維持できなくなったり、故障の原因となりますのでねじの締め直しをしてください。
- 鎌やストライクにぶつからないように気をつけてください。当たってけがをしたり、衣服を引っ掛けて転倒したりする恐れがあります。また、ドア付近ではお子様が遊ばないように、保護者の方はご注意ください。
- 指輪や硬質なもので表面にキズを付けないようご注意ください。
- キーの浅差しや、キーを差し込んだまま使用しないでください。破損、故障の原因になります。
- シリンダー錠の錠穴に異物を入れないでください。異物が詰まると錠の操作が出来なくなります。また、錠の操作がスムーズにいかない場合は、下記の『鍵のお手入れ方法』を参考にしてください。

### 鍵のお手入れについて

- キーの鍵山に付着した汚れをブラシ等できれいに落とし、鍵山に黒鉛(鉛筆の黒芯)を塗り、キーをシリンダー錠の錠穴に差し込みキーの抜き差しや回転を数回行ってください。キーの抜き差しや回転がスムーズになりましたら、付着した黒鉛を拭き取ります。衣服などを汚さないようご注意ください。
- 市販されている住居用鍵専用の潤滑剤(油の含まれていないパウダースプレー)を使用する場合ノズル先端をシリンダー錠の錠穴に差込み0.5秒程度吹付け、キーの抜き差しや回転を数回行ってください。油(グリスや合成潤滑油)は、ほこりを吸着してかえって動きを悪くしますので絶対に使用しないでください。

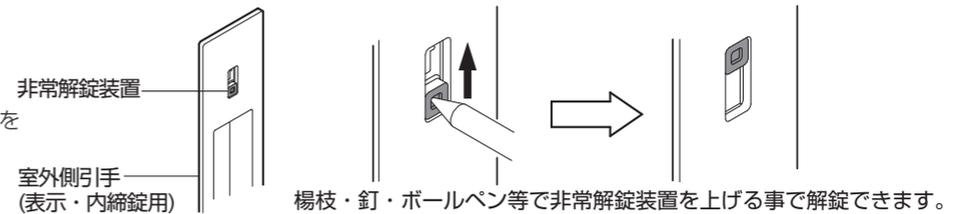


### 表面のお手入れについて

- ・汚れ落としには中性洗剤以外の洗剤・漂白剤・シンナー等は使用しないでください。変色・はがれ等の原因になります。
- ・汚れの程度に応じて下記の内容でお手入れをお願いします。
- ① 軽い汚れの場合は、柔らかい布で軽くから拭きしてください。
- ② から拭きでは落ちない汚れの場合は、水を含ませた柔らかい布で水拭きし、その後、から拭きしてください。
- ③ 水拭きで落ちない汚れの場合は、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、その後洗剤が残らないように水拭きし、最後に、から拭きして水分が残らないようにしてください。洗剤や水分が残っていると腐食の原因になります。

### 非常時の解錠方法

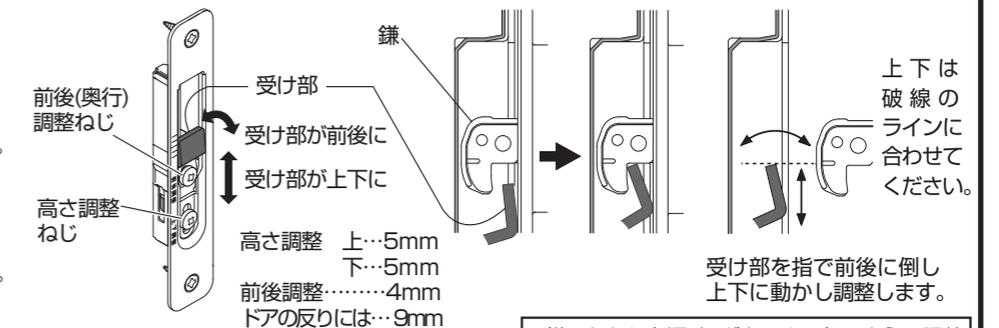
内締錠・表示錠の場合非常時に屋外側から解錠することが出来ます。非常解錠装置を上げる事で解錠してください。シリンダー錠については非常解錠装置はありません。ご注意ください。



### ストライクの調整方法

鎌のかけ具合は受け部を上下・前後に動かすことで調整することができます。調整ねじを緩めると受け部はフリーになりますので右図を参考に調整し、ねじを締め付けかけ具合をみてください。受け部の位置が適正で無い場合正常に施錠されなかったり鎌が出ている状態で引戸を閉めそのまま施錠されてしまう事があります。ご使用中に鎌のかけ具合が悪い時は恐れ入りますが、ご自身で調整の程お願い致します。

※扉・枠の建て付けが悪い場合には、事前に建て付け調整後、ストライクの調整を行ってください。



※鎌のかけ具合を深く、ガタつきの無いように調整ストライクの受け部を上図のように調整してください。

すでに調整済みの場合はその分の寸法がずれております。

# 取付型紙

## 使用可能扉厚について

扉厚	施解錠ピン 原寸大
28~32mm	短いピン 22.5mm
32~36mm	長いピン(黒色) 27.9mm

扉厚により、施解錠ピンの長さが異なります。詳しくは、裏面の取付説明書をご覧ください。  
36~40mmの場合は別途お申し出ください。

**扉表面からの穴加工を先にしてください。**  
**一番上と一番下の穴位置が重要です。**

